

■ 開設年度		■ 開講部局	
2014		共通教育	
■ 科目名			
稲盛セミナーⅠ（先人の生き方）			
■ 英語科目名			
Inamori Seminar Ⅰ			
■ 前後期	■ 開講区分	■ 科目形態	■ 単位数
前期	毎週	講義	2
■（25年度以降入学生）中分類		■（25年度以降入学生）小分類	
a. 実践・判断・精神力		2. 自己確立・他者理解を学ぶ	
■（24年度以前入学生）大区分		■（24年度以前入学生）中区分	
教養科目		人間教育科目	
■ 受講学部学科			
全			
■ 担当教員		■ 担当教員所属	
奥健一郎		稲盛アカデミー	
■ 連絡先（TEL）		■ 連絡先（MAIL）	
099-285-8329		koku@eng.kagoshima-u.ac.jp	
■ オフィスアワー（授業時間外の対応）			
講義中終了後。もしくは時間調整の上で実施。			
■ 共同担当教員			
■ メインキーワード		■ サブキーワード	
■ 授業概要（目的・内容・方法）			
わが国は戦後目覚ましい成長を遂げ、世界経済の重要な役割を担うまでになった。しかしながら一方で、急速な経済発展の生んだ歪みによる道德の欠如は昨今特に社会生活を混乱させ、その影響は様々な痛ましい社会事件や、企業の破綻にまで広がっている。 この現状が現代の教育にも打撃を与え、結果として国民の精神そのものが低迷し、出口の見えない状況が続いているといっても過言ではない。 以上の観点から、このセミナーは、稲盛氏を始め様々な人物を学ぶことを通じて、社会人としての幅広い教養を身につけることはもちろん、各々の理解を通じて人の生き方やその人生哲学なども学びとり、真に豊かな人生を送る意義を学ぶことを目的とする。			
■ 学習目標			
本講義では稲盛和夫氏の物の考え方（フィロソフィー）を一つの素材として、多角的に学ぶ事を目的とする。また、人間力の学問的裏付けとなるpop philosophyの把握にも焦点を当てる。 まず、稲盛氏を一つの素材として、その思想形成、または経営上の哲学を構築するにあたって影響を受けた人物を、取り上げる。その人物そのものに深く言及するのみならず、その人物と稲盛氏との関係にも焦点を当てて取り上げる。 その基礎を土台として人間観・労働観・世界観などを幅広く学ぶ。 本講義は、先人の思想や生き方、及びそれを土台とした経営手法を総合的に学ぶ事を目的としており、本アカデミーの中で最も幅広く人生観と経営思想を学べる講義である。			
■ 授業計画（15回に分け、回数、授業内容、自学自習等）			
1：はじめに			
2：西郷隆盛の生き方（1）			
3：西郷隆盛の生き方（2）			
4：経営者事例研究（1）			
5：経営者事例研究（2）			
6：マザーテレサの生き方			
7：リーダーシップの在り方			
8：心を高める 経営を伸ばす（1）			
9：心を高める 経営を伸ばす（2）			
10：経営者事例研究（3）			

11：経営者事例研究（４） 12：心を高める 経営を伸ばす（５） 13：中村天風の生き方 14：まとめとディスカッション 15：終わりに	
■授業外学習(予習・復習)	
毎回のフィードバックシートを通じ、復習をしっかりとやること。	
■受講要件	■成績の評価基準
特になし。	毎回のフィードバックシート及びレポートで総合的に評価。
■教科書	■参考書
特に指定しない。参考文献を随時紹介する。	『敬天愛人—私の経営を支えたもの—』 稲盛和夫・2006年・PHP文庫 『生き方—人間として一番大切な事—』 稲盛和夫・2004年・サンマーク出版 『稲盛和夫の哲学—人は何のために生きるのか—』 稲盛和夫・2001年・PHP研究所 『二十一世紀の子供たちへ—君の思いは必ず実現する—』稲盛和夫・2004年・財界研究所 『アメーバ経営—ひとりひとりの社員が主役—』 稲盛和夫・2006年・日本経済新聞社 『稲盛和夫の実学—経営と会計—』 稲盛和夫・日本経済新聞社・2000年 『人生の王道—西郷南洲の教えに学ぶ—』 稲盛和夫・日経BP社・2007年 『働き方』三笠書房・稲盛和夫・2009年 『人生と陽明学』安岡正篤・PHP文庫・2002年 『私の行き方 考え方—わが半生の記録—』 松下幸之助・PHP文庫・1986年 『実践経営哲学』松下幸之助・PHP文庫・2001年 『西郷南洲翁遺訓』 財団法人西郷南洲顕彰会・平成13年 『成功の実現』 中村天風・1988年・日本経営合理化協会出版局 『研心抄』中村天風・財団法人天風会・昭和23年
■その他	